



申3号 2025年度冬期に関する申し入れ 提出

東日本ユニオンは申12号「2024年度冬期検証に関する申し入れ」について労使で議論を行なってきました。冬期検証活動を通じこれまでの社員・組合員が経験した苦労や安全サービス、労働環境など成果と課題を確認してきました。昨年冬期の教訓・反省を活かし安全安定輸送の確保と社員、組合員が安心して働ける環境の実現に向け2025年9月12日に申3号「2025年度冬期に関する申し入れ」を提出しました。

申3号 申し入れ項目

1. 架線凍結対策として架線凍結が予想される場合、柏崎駅～吉田駅間パターンダイヤで運行すること。
2. 上越線越後川口駅上り本線での持ち込み雪による起動不能対策を講じること。
3. ホーム除雪について各駅最大両数除雪を行うこと。
4. E653系側引戸の雪介在による列車遅延防止のため氷結解除スプレーを搭載すること。
5. 臨時単行機関車列車を運用する条件を満たした場合は乗務員を確実に確保すること。
6. 試験的に整備したE129系カッターパンの有効性を確実に検証できるよう車両運用を確保すること。
7. 石打駅車庫内に制輪子凍結対策としてパネルヒーターを設置すること。
8. 長岡駅南部構内についてはMR除雪を本線同様優先的に行なうこと。
9. 車掌の誘導による起動確認について担当行路の休養時間確保の観点から負担を緩和すること。
10. 越後湯沢駅、浦佐駅、金塚駅、西新発田駅、柏崎駅、大白川駅、小出駅のポイント不転換対策を講じること。
11. 乗務員によるポイント不転換対応について乗務員申告以上の指示を行わないこと。
12. 運休情報を早急に社員が把握できるよう体制を構築すること。

労働者が安心して働ける 冬期体制をつくり上げよう!!